

選択英語 A (4)		講義	講師 村元 エリカ マリア	
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目 柔道整復師コースの教養選択科目 救急救命士コースの教養選択科目	科目ナンバリング	11110201 12210201 13210201	

1. 授業のねらい・概要

本コースでは、この分野の新たな知識を身につけ、興味に応じた言語的・文化的なトピックを探求し、現代社会において有用となるグローバルな思考力を養います。

2. 授業の進め方

選択英語 A は、アクティブ・ラーニングを取り入れ、学生が実践的な問題解決能力を養うことを目指します。具体的には、PBL（課題解決型学習）、調査学習、グループワーク、プレゼンテーション、リフレクションを行い、学生はグループで協力して興味のあるテーマに関連する問題を調査し、アイデアを出し合い、解決策を見つけます。英語のスキルについて心配せず、挑戦し、間違いから学び、グループで成長することが大切です。

3. 授業計画

第1回 Welcome: Intro of Teacher and Students / Course Orientation & Introduction

第2回 Syllabus Overview/ General tasks

第3回 Topic 8: Embracing Diversity and Knowledge Sharing: Learning Through Global Topics (pp. 1 - 4)

第4回 Plan your Presentation (pp. 5-6)

第5回 Parts of Research (pp. 7-10)

第6回 Parts of Research (pp. 11)

第7回 Parts of Research (pp. 12-13)

第8回 Choose a Country (pp. 14-16)

第9回 Choose a Country (pp. 17-18)

第10回 Foreign Community in Japan (pp. 19-20)

第11回 Comparison (pp. 21-22)

第12回 Partnerships and Actions (pp. 23-24)

第13回 Japanese Professional (pp. 25-26)

第14回 Citation and Academic Integrity (pp. 27-28)

第15回 Citation and Academic Integrity (pp. 29)

第16回 Preparation for Group Presentation (pp. 30-32)

第17回 Preparation for Group Presentation (pp. 33-34)

第18回 Preparation for Group Presentation (pp. 35-36)

第19回 Preparation for Group Presentation (pp. 37-39)

第20回 Presentation Requirements (pp. 40-42)

第21回 Presentation Requirements - Speaking Notes (pp. 43-44)

第22回 Presentation Requirements - Q&A (pp. 45-46)

第23回 Practice and Presentation (pp. 49-52)

第24回 Presentation – Day 1

第25回 Presentation – Day 2

第26回 Presentation – Day 3

第27回 Presentation – Day 4

第28回 Presentation – Day 5

第29回 Can-Do Questions

第30回 Research Report Writing / Pick Up Loose Ends / Review Course

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

前期週 2 回型。遅刻・欠席しない様に、積極的に参加してください。授業で配布された詳細日程表に基づいて、次の講義で学習する範囲を予習してくる。自主的に課題を進めてください。なお、これらの準備学修には、1 時間以上が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

教科書課題または授業外課題はすべて授業中に確認する。プレゼンテーションの講評を行う。筆記試験は採点し、返却する。

6. 授業における学修の到達目標

この授業は、英語の 4 技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の実践的なスキルを高め、現代社会を理解するために必要なグローバルな思考力を養います。また、アクティブ・ラーニングとして PBL（課題解決型学習）、調査学習、グループワーク、プレゼンテーション、リフレクションを取り入れ、実践的な問題解決能力を養います。これらの学習方法は、学校生活だけでなく、将来の仕事にも役立つスキルを身につけることを目指します。

7. 成績評価の方法・基準

このコースに合格するためには、60%の合格点を取得する必要があります。評価は以下の通りです。

- (20%) リフレクションペーパー（コメント用紙）
- (20%) 課題(教科書課題および/または授業外課題)
- (40%) プレゼンテーション
- (20%) 自己評価・レポート

8. テキスト・参考文献

参加者と相談の上、クラスで発表する予定。

9. 受講上の留意事項

授業には、教科書、パソコンまたはタブレット、英和・和英辞書（電子辞書を含む）を持参すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。